

感動の渦で大成功！！ 1.17 檀美知生第5回リサイタル

□「檀美知生 66th 第5回テノールソロリサイタル：私の好きなこの街コンサート IN 関西」が阪神淡路大震災追悼記念日でもあり、檀先生の誕生日でもある1月17日（木）に、兵庫県立芸術文化センター小ホールで開催され、390人の満席の観客に大きな感動と東北の被災者に対する熱い支援・連帯の想いを巻き起こし、大好評を得ました。



第一部 ドイツ歌曲集 第二部 日本歌曲集—荒木栄・高平
つくゆき作品集 檀美知生 テノールソロ

□昴は第三部 「コーラスミュージカルオリジナル作品集」5曲の内、「ほんとの勇者の物語」、「アモーレテラ」の2曲、第四部「東日本震災復興支援のうたごえ」の「おらあここがいい」、「気仙大工・左官伝承館の歌」、「いつだってスタートライン」、「海に生きたあなたよ」と「フィンランディア」の5曲とアンコールの「私の好きなこの街」を懸命のステージで勤めました。

□昴の参加はソロ兼指揮の檀先生、本並先生をはじめとして32名、女声アンサンブル「アモーレ」7名、「支援合唱団」は、内町さんの愛娘・安純さん、松本圭司さんと愛娘・彩恵ちゃん、菜々恵ちゃんを含めて10名、全49名の出演でした。

巡り合えた「人間の心の歌声」を皆さまにも！！・・・リサイタルコンサートの想い

本日は、研鑽を積んだ檀美知生の歌声、女声アンサンブル「アモーレ」のデビューの歌声、東北現地公演を大きく支えた男声合唱団「昴」と「支援合唱団」の歌声を被災地の復興への願いと支援・連帯の想いをこめてお届けしたい。ピアノの早川奈穂子さん他、スタッフを含めて60名のステージをお楽しみ頂き、全国からお越しの観客の皆さまへ、さらには被災地へ届くよう、力の限り歌います！！（プログラムから一部を抜粋）

□多数の好評のアンケートは次号で紹介します。報道では、先立つ16日の毎日新聞夕刊の一面記事で大きく掲載され、18日同夕刊には村嶋由紀子さんが会場で神戸の震災遺児と18年ぶりに再会した記事が、19日の同朝刊には1・17のコンサートの記事がいずれも大きく掲載されました。

□檀先生の在籍していたIBMでも大好評で、4月の親鸞会（同窓会組織）総会で、30分の講演と支援金のカンパの訴えをやってくれと依頼されたそうです。

□カンパと言え、来年1月12日に決まっている「檀美知生第6回リサイタル・私の好きなこの街コンサートIN関西II」に、陸前高田の子どもたちを招待公演するにあたっての支援では、なんと22万円を超えるカンパが集まり、コンサートの趣旨が伝わったことの現れでもあり、被災地への皆さんの支援と連帯の気持ちがとても大きいことがわかりました。



第三部 コーラスミュージカルオリジナル作品集のステージ

□舞台監督兼映像制作の吉竹さん、はるばる仙台からかけつけて今回も同補助を勤めて下さったジャンボ高橋さん、表方チケット担当の坂口さん、表方、裏方でスタッフを兼任していただいた各団員の方々、お疲れ様でした。おかげさまで、立派なステージを行うことが出来ました。



□何と云っても、今回も、檀夫妻の全てにわたっての、隅々までいきとどいた見事な盛りと采配は、並々ならぬ才能と経験と労苦抜きには実現できなかったことで、その情熱には頭が下がります。

大型スクリーンに「支援プロジェクトの歩み」を映写



第四部 東日本震災復興支援のうたごえ



アンコール 会場も一緒に「私の好きなこの街」

新譜「降りつむ」他をレッスンしました

1月18日

□昨日のリサイタルコンサートから明けて翌日の1月18日（金）は定例レッスンの日。昨夜打ち上げに出て帰宅が午前様になった人も多かった中、元気にレッスンに集合しました。奥村さんの体操にはじまり、



本並先生の発声と指揮、森先生のピアノで、「美しく碧きドナウ」、「音戸の舟唄」と新譜「降りつむ」をレッスンしました。参加は全26名でした。



□吉川さん、12月21日のレッスン時、一度見学に来られましたが、迷っているより入ってみようかと決心され入団されました。大歓迎です。一緒に楽しく合唱しましょう。

□レッスンに先立ち企画委員会が開かれました。夏の昴のコンサートに向けて熱心な討議がありましたが、次回の運営委員会で詰めの討議を行います。運営委員は必ず出席して下さい。

一市内南部うたごえ新春交流会

□1月26日（土） 18：00

□大阪グリーン会館

□服装：後報

□昴の演奏：後報

□檀さんのソロ2曲もあります。



祭典・制作協力金

昴・現在 304,000円です。

（目標 600,000円）

立川さんがグリーンコーラスから10,000×5口の協力をもらいました。